

教 務 旬 報

教務通信 第17号 平成27年12月10日

登校日数
148 / 195

後期中間考査が終了しました

後期中間考査が終了しました。返却された答案用紙を見て、どのように感じていますか。試験の問題を見て、授業で先生が何を伝えたかったのか理解できたのではないのでしょうか。試験問題は、その期間の授業の集約です。最も大切な教材です。もう一度、よく読み、解き直し、教科書と比較してみましょう。また、全体の学習のバランスを確認できる機会でもあります。できている教科とできていない教科の差が無かったでしょうか。全ての教科は関連しているのです。教科の関連を調べてみると、新しい学習の楽しみが発見できるかもしれません。

(具体例：物理と化学、物理と数学、物理と世界史、物理と英語、・・・)

さて、今年度の定期考査も3回が終了し、残るは後期期末考査のみとなりました。学習成績も気になる時期です。定期考査の点数も重要ですが、単位数に対する欠課時数も「成績通知票」で確認してください。本校では、
年間授業数の3／4以上の出席

がなければ、「履修」が認められません。履修が認められなければ、単位の「修得」も認められません。残りの授業時数も少なくなっています。最後まで、授業を休まないようにしましょう。

特別活動の「補完指導」について

高等学校を卒業するには、

- 1 74単位以上の修得（必修科目をすべて含む）

※ 必修科目には「総合的な学習の時間」が含まれます。

- 2 3年以上の在籍

- 3 特別活動の成果がその目標からみて満足できると認められる

の全ての条件を満たすことが必要です。(学習指導要領 総則 第6款)

では、特別活動とは何でしょうか。「ホームルーム活動」「生徒会活動」「学校行事」等の集団活動のことです。みなさんは、この集団活動ができていたのでしょうか。この条件は、毎年、認められなければなりません。

そこで、今年度の現在までの状況で、満足できると認められない者は、
年末に「補完指導」を行います。



担任の先生の指示に従って、しっかりと取り組み、成果が満足できると認められるようにしましょう。そして、卒業に向けて、一步一步、歩みを進めましょう。また、特別活動は、教科の学習と同様に、大切な学びの機会であることを理解してもらいたと思います。

※ 補完 = 不十分なところを補って完全なものにすること。
本校では、授業の補充は行いません。

研修旅行(2年次生)出発まで1カ月です

霞城学園の研修旅行(修学旅行)は2年次の冬に行います。今年度は、1月13日(水)～15日(金)に2泊3日で関西方面に、2年次生全員で行きます。

京都・奈良の修学旅行というと秋の景色を思い浮かべますが、冬の京都もいいものです。山間部に行くのは難しい季節ですが、町中に名所が沢山あります。



白いベールをまとった雪化粧の金閣は絶景です。白い雪景色の中の舍利殿の金色の輝きは、この季節ならではです。近年、雪が少なく雪化粧が見られるかどうか。清水寺では、辺りの木立が白い雲のように見え、そこに浮かぶ舞台は空想の世界のようです。また、12月12日は漢字の日。清水寺の舞台で「今年の漢字」がもうすぐ発表されます。

図書館には、関西の観光用資料がたくさん揃っており、時がたつのを忘れてしまいそうです。

教科書購入費の補助金交付申請手続きについて

7月に申請希望の予備調査を行い、14名の意向を把握しております。改めて、以下の申請条件を読み確認しておいてください。(不明な点は、担任または教務課 桂野 に相談してください。)

- ◎ 対象は、教科書購入経費(副読本等を除く)です。
- ◎ 就労実績(見込みではなく実績です)に関する条件は以下のとおりです。
「平成27年度において、150日以上かつ500時間以上就労した」(予定や見込みは×)
- ◎ 授業への出席と履修状況が良好であることは絶対条件です。
- ◎ 修得単位数については以下の条件です。
「入学2年目の生徒にあつては14単位以上、3年目以降の生徒にあつては28単位以上」

※ 申請希望者への説明会を

12月16日(水) 16:40～ 会議室

で行いますので、必ず参加すること。

<保護者の方々へ>

教務旬報は、ホームページでもご覧いただくことができます。モバイルサイト(スマホで閲覧可能)も対応しています。

アクセスは以下のアドレスへ

<http://www.kajogakuen-h.ed.jp/htdocs/定時制の課程/生徒・保護者の方へ/>

もしくは、「霞城学園高校」で検索をお願いします。